

東横線・田園都市線・大井町線全64駅 ホームドア設置完了

～大手民鉄初！ ホームドア・センサー付固定式ホーム柵 設置100%達成(※)～

東急電鉄株式会社

当社は、あらゆるお客さまにとって安全・安心な鉄道を目指し、東横線・田園都市線・大井町線各駅にホームドアを設置してきましたが、3月22日、大井町線等々力駅で運用を開始し、全64駅への設置が完了します。これにより、既にホームドアを設置済の目黒線、センサー付固定式ホーム柵を設置済の池上線・東急多摩川線とあわせて、東急線全駅(※)において、大手民鉄で初めて、ホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置100%を達成します。(※)世田谷線・こどもの国線を除く

当社は、ホーム安全対策を重要な課題の一つと位置づけ、2015年1月、2020年を目標に東横線・田園都市線・大井町線全64駅へのホームドア設置を決定しました。2017年5月には、整備完了時期を2019年度末までに前倒しし、順次、設置を進めてきました。

設置にあたっては、決定当時、田園都市線において4ドア車と6ドア車でドア位置が異なるという課題があり、2016年より、田園都市線6ドア車45両の4ドア車への置き換えを進め、2017年度中に完了しました。

また、工期短縮・工費削減のため、夜間に回送列車にホームドアを積み込んでの一括運搬や、盛土式ホームにおける工期短縮が図れる補強方法の採用とともに、車両改修を不要にするため、情報伝送装置の搭載を必要としない新たなホームドア開扉システムを開発するなど、早期設置に向けたさまざまな工夫を重ねながら設置を進めてきました。

その結果、ホームドア設置の進捗とともに、ホーム上の安全性が高まり、お客さまのホーム転落件数が、2014年度131件から2019年度10件(2月末まで)に大幅減少し、またホーム上における輸送障害件数が、2014年度32件から2019年度5件(2月末まで)に大幅減少し、安全・安定輸送の確保に大きく貢献しています。

当社は今後も、車内の安全対策として、東急線所属の全1255両(こどもの国線を除く)に、2020年7月までに、ソフトバンクの4Gデータ通信に対応したLED蛍光灯一体型の防犯カメラ「IoTube」を導入、踏切の安全対策として、踏切内全体の障害物を検知する3D式の障害物検知装置を2021年度までに全踏切(世田谷線、こどもの国線を除く)に設置するなど、ホーム以外のさまざまな安全の取り組みも推進し、あらゆるお客さまにとって安全・安心な鉄道を目指していきます。

詳細は別紙のとおりです。



ホームドア



センサー付固定式ホーム柵

以上